

令和5年度 2年 社会科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。」

『知識・技能』社会的事象の特色や相互の関連を理解し、諸資料を適切に選択し活用することができる。

『思考・判断・表現』社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現することができる。

『主体的に学習に取り組む態度』社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し考えることができる。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	授業ノート 授業観察 提出課題 定期テスト 小テスト	授業ノート 授業観察 提出課題 定期テスト 小テスト	授業ノート 授業観察 提出課題

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4 5	<歴史的分野> 第2章 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外 第3節 人々の結び付きが強まる社会	15	鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景と	○	○	○	①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 ②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

			<p>した社会や文化が生まれたことを理解する。</p> <p>武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>				
10 11	<p>第3部 中世</p> <p>武家政権の成長と東アジア</p>	10	<p>武士が台頭し，やがて主従の結び付きや武力を背景にして東国に武家政権が成立したことなど，古代から中世への転換のようすを，古代の天皇や貴族の政治との違いに着目して考察し，自分の言葉で表現できるようにする。</p> <p>農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が，当時の社会の大きな変化であることに着目し，人々の生活が向上したこと，商品流通が活性化したことを理解する。</p> <p>武家政治の展開や民衆の成長を背景とした文化が生まれたことを理解する。</p>	○	○	○	<p>①学習を通して地図や写真資料などから適切なことがらを読み取っている。歴史的な事象を理解し知識を身に付けている。</p> <p>②武家政治の特色を考えるとときに，古代の天皇や貴族の政治との違いを見付け，自分の言葉で表現している。</p> <p>②学習を通して，資料に基づき思考を深め，判断したことを適切に表現している。</p> <p>③武家政権の成立とその支配の広まりなどについての関心を高め，意欲的に追究し，中世の特色をとらえようとするとともに，さまざまな文化遺産を尊重しようとしている。</p>
11 12	<p>第4部 近世</p> <p>第1章 大航海時代 第2章 安土桃山時代</p>	15	<p>ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにもなつて，鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿</p>	○	○	○	<p>①学習を通して地図や写真資料などから適切なことがらを読み取っている。</p> <p>①歴史的な事象を理解し知識を身に付けている。</p> <p>②地理的分野の学習で習得した世界の略地図を描く技能を活用し，世界が一体化していった歴史</p>

	<p>第3章 武士による支配の完成</p>	<p>易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解する。</p> <p>織田信長が行った仏教勢力への圧迫や關所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの変化に気付く。</p> <p>江戸幕府の政治の特色について、その支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できる。</p> <p>江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことを理解しその知識を身に付ける。</p>		<p>の変化を、地図を使ってすすんで表現している。</p> <p>②学習を通して、資料に基づき思考を深め、判断したことを適切に表現している。</p> <p>③学習を通して、ヨーロッパ人來航の背景とその影響などについての関心を高め、意欲的に追究している。</p> <p>③学習を通して、江戸幕府と藩による支配が確立していったことについての関心を高め、意欲的に追究し、江戸幕府の政治の特色を捉えようとするとともに、さまざまな文化遺産を尊重しようとしている。また、中世と近世の武家政治の違いやそれぞれの時代の特色を考え、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>③学習を通して、身分制度の確立及び農村のようす、産業や交通の発達、町人文化や各地方の生活文化などについての関心を高め、意欲的に追究し、さまざまな文化遺産を尊重しようとしている。</p> <p>③学習を通して、社会の変動、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどから、近世社会の基礎が動揺していったことについての関心を高め、意欲的に追究し、さまざまな文化遺産を尊重しようとしている。</p>
	<p>第4章 天下泰平の世の中</p>	<p>農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特色を生かした事例を理解する。</p> <p>大阪・京都などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことを理解する。</p>		
	<p>第5章 社会の変化と幕府の対策</p>	<p>貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化に着目し、近世社会の基礎が動揺していったことを理解する。</p>		

			蘭学や国学の中に新しい時代を切り開く動きが見られたことを理解する。				
12 1 2 3	第5部 近代前半 第1章 欧米諸国における「近代化」 第2章 開国と幕府の終わり 第3章 新しい価値観の下で 第4章 近代国家への歩み	20	<p>工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命などに注目し、これを通して資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことを理解する。</p> <p>産業革命の進展に伴って、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解する。</p> <p>幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的及び社会的な影響を理解し、それが明治維新の動きを生み出したことを理解する。</p> <p>富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革を取り上げ、近世から近代への転換のようすを、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できる。</p> <p>欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことがわかる。</p>	○	○	○	<p>①学習を通して地図や写真資料などから適切なことがらを読み取っている。</p> <p>①歴史的な事象を理解し知識を身に付けている。</p> <p>②学習を通して、資料に基づき思考を深め、判断したことを適切に表現している。</p> <p>③学習を通して、欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出などについての関心を高め、意欲的に追究して近代の特色を捉えようとしている。また、欧米諸国における近代化についての関心を高め、近代という時代の特色を考えて、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>③学習を通して、社会の変動や欧米諸国の接近によって幕府の政治が次第に行き詰まりをみせ、対外政策を転換して開国したことについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色を捉えようとし、国際協調の大切さを考えようとしている。</p> <p>③学習を通して、明治維新による近代国家の形成についての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色を捉えようとし、国際協調の大切さを考えようとしている。また、近世から近代へと移り変わる社会のようすに関心を高め、近世と近代の違いやそれぞれの時代の特色を考え、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>③学習を通して、近代国家を形成しようとする時期の国際情勢や自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色を捉えようとし、国際協調の大切さを考えようとしている。また、近代国家の形成に大きな役割を果たしたと考えられる人物について自ら進んで調べ、発表している。</p> <p>③学習を通して、条約改正や日清・日露戦争、日本の国際的地位が向上していったことなどについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色を捉えようとし、国際協調の大切さを考えようとしている。また、条約の改正で大きな役割を果たしたと考えられる人物について自ら進んで調べ、発表している。</p>

	<p>第5章 帝国主義と日本</p> <p>第6章 アジアの強国の光と影</p>	<p>条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づく。</p> <p>大陸との関係に着目させ、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解する。</p> <p>富国強兵・殖産興業政策の下、製糸業、紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎が固まったことがわかる。</p> <p>近代産業が飛躍的に発展したころ、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことがわかる。</p> <p>鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で、労働問題や社会問題が発生したことがわかる。</p> <p>伝統的な文化の上に欧米文化を受容して、日本の近代の文化が形成されたことがわかる。</p>			<p>③学習を通して、我が国の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色を捉えようとしている。また、身近な地域の近代化遺産や鉄道開通時のようすを意欲的に調べて、近代の産業の特色を捉えようとしている。</p>
<p>5 6 7</p>	<p><地理的分野> 第2章 世界と比べた日本の地域的特色</p> <p>1節 自然環境の特色</p> <p>2節 人口の特色</p> <p>3節 資源や産業の特色</p>	<p>15</p> <p>世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取りあげ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p> <p>①世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択し、その情報から日本の地域的特色について読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。</p> <p>①世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>

	4節 地域間の結びつきの特色					③世界的視野からみた日本の地域的特色や、日本全体の視野からみたおおまかな国内の地域差に関心を持ち、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。	
7 9 10	第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方 5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方	30	日本を七つの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色を捉える。	○	○	○	①日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。 ①日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ②日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の諸地域の地域的特色に対する関心を持ち、それを意欲的に追究し、捉えようとする。